

令和 8（2026）年度関西医科大学大学院看護学研究科

博士前期課程

入学試験問題 冬期

外国語（英語）

問題 1 次の問題を読み、後に続く各問題に答えなさい。

[出典：World Health Organization , Ageing and health,

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/ageing-and-health> より一部改変]

- 1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- 2) 文中の内容にあてはまるものを1つ選び、記号を記載しなさい。
 - a. 高齢者の健康状態の差異に、遺伝は関連しない。
 - b. 高齢化は、高所得国のみの課題である。
 - c. 高齢化は、感染性疾患のリスクの低減によるものである。
 - d. 幼少期や胎児期を過ごした環境も、老化の仕方に長期的に影響する。
- 3) 高齢者の健康状態に影響を及ぼす要因について、どのように述べられているか、日本語で説明しなさい。
- 4) 筆者の考えを踏まえ、日本における高齢化の課題と、重要となるアプローチについて日本語で述べなさい。

令和8年度(2026) 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 冬期 外国語(英語)
出題の意図および解答例

問題 1

1)

【出題の意図】

英語文章の基礎的な読解力を確認するとともに、与えられた内容を的確に日本語で表現する能力を測ることを目的としている。基本的な読解力と文章構成力を評価する。

【解答例】

世界中の人々の寿命は延びており、今日ではほとんどの人が60代以上生きられると期待される。世界中のあらゆる国で、高齢者の人口と割合の両方の増加を経験している。

2)

【出題の意図】

本文全体を正確に読み取る読解力、ならびに解釈力を評価する。

【解答】

d

3)

【出題の意図】

高齢者人口が増えている現代において、高齢者の健康に及ぼす要因を課題の文中から読み取り、基本的な読解力と、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

高齢者の健康状態は、住居、近隣地域、地域社会といった物理的・社会的環境、そして性別、民族、社会経済的地位といった個人的な特性に起因している。幼少期、あるいは胎児期に過ごした環境と個人的な特性が組み合わさることで、老化の仕方に長期的な影響を及ぼす。バランスのとれた食事、定期的な身体活動、たばこの使用を控えることも健康に影響を与える要因となる。

4)

【出題の意図】

基本的な読解力とともに、人口の高齢化という身近な社会の課題を自身の課題としてとらえる力、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

筆者は、バランスの取れた食事を摂り、定期的な身体活動を行い、タバコの使用を抑えることが、非感染性疾患のリスク低減、身体的・精神的機能の向上と、介護への依存を遅らせること、さらに、支援的な物理的社会的環境の整備や、心理社会的成長を促進するアプローチが重要と述べている。

日本における高齢化の課題として、身体活動性を維持するための介護予防に関する介護保険制度や、地域資源の活用など、自らの考えを述べていること。